

お通夜での挨拶文例

《 一般的な喪主の挨拶 》

【例】

本日はご多用中のところ、故人（〇〇）のためにお焼香を賜りまして誠にありがとうございます。生前親しくさせていただきました皆様に温かく見守られ、故人（〇〇）もさぞ喜んでいることと思います。

ささやかではございますが、別室に供養のための粗茶などを用意いたしました。どうぞ召し上がっていただき、故人の在りし日のお話などをお聞かせいただければと存じます。

なお、明日の葬儀・告別式は〇時～〇時となっております。

今日は、誠にありがとうございました。

《 喪主が夫の場合の挨拶 》

【例】

ひと言、ご挨拶申し上げます。本日はお忙しい中、亡き妻（〇〇）の為にわざわざご弔問いただきまして誠にありがとうございました。

故人も、皆様のおいでをさぞ喜んでいることと思います。

妻亡きいま、おもいを巡らせますと心残りなことばかりでございますが、これも寿命なのでございましょう。

存命中は、ひとかたならぬお世話になりました皆様方に、故人に代わり厚く御礼申し上げます。

なお明日の告別式は〇時から行います。

なにとぞよろしく願い申し上げます。

あちらの部屋に、ささやかですが心ばかりのお食事を用意いたしました。

故人を偲ぶ話など聞かせていただければ幸いです。

本日は誠にありがとうございました。

《 喪主が妻の場合の挨拶 》

【例】

本日は、ご多用にもかかわらず、亡き夫（〇〇）のため、多数お集まり下さいまして誠にありがとうございました。

〇〇もこのように皆様に温かく見守っていただき、とても喜んでいる事と思います。

心ばかりではございますが、別室に食事を用意させていただきました。お召し上がりいただきながら、故人の思い出話などをお聞かせいただければと存じます。

本当にありがとうございました。

なお明日の葬儀は〇時からとなっております。

お時間が許すようでしたら、ご会葬いただければ幸いです。

今日は誠にありがとうございました。

《 喪主が息子の場合の挨拶 》

【例】

本日はご多用中のところ、ご参列下さり、またご丁寧にお悔やみをくださりまして、誠にありがとうございました。

存命中は、皆様から格別のご厚情を賜り、本人も大変感謝いたしておりました。故人に代わりまして、心から厚くお礼申し上げます。

なお、明日の葬儀は〇時からでございます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

大変ささやかではございますが、別室に粗茶を用意しております。

どうぞ召し上りながら、生前の思い出話などをお聞かせいただければと存じます。

※あくまでも参考例です。これは仏式例文で宗派により異なります。

また、地域・風習によっても異なります。